

一九八六年二月二十五日
発行



第70巻 第1号 史学・地理学・考古学

論 説

- 漢代田制考証……………佐竹靖彦 (1)
- ライデストス穀物専売政策をめぐって……………根津由喜夫 (44)
——十一世紀ビザンツの国家と官僚——
- 「宣伝政党」ドイツ社会民主党と
風刺漫画雑誌『真相』……………佐藤卓己 (73)

史料紹介

- 『駒井日記』と駒井重勝……………藤田恒春 (118)
——祐徳文庫本『駒井中書日次記』巻二の紹介——

紹 介

- 若尾祐司著『ドイツ奉公人の社会史——近代家族の成立——』(佐々木博光)
- 西弘海著『土器様式の成立とその背景』(菱田哲郎)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

『集史』全篇の大部分が活字本で利用できるようになっていたので、その内の良好なテキストを底本にして邦訳を続けている。ただ活字本に拠るだけでは不十分である。

原写本に当たらなければならなくなっている。既に小林高四郎博士によって『集史』の最古・最良の写本であるイスタンプル・トプカピサライ所蔵本の写真が我が国に将来され、東洋文庫に備えられており、測り知れない恩恵を蒙っている。トプカピサライ本はラシード在世中の一三一七年にバグダードで作成されている。

演 要 旨

もう一つの写本系統としては、ティムール朝シャーロフ治下のヘラートにおいて、ハーフィズ・アブル（一四三〇没）によって作られた再訂本に由来するものがあると考えられる。現在、トプカピサライ本複写の他に、大英図書館、インド庁図書館、テヘラン大学図書館に所蔵されている『集史』写本の写真を利用し得るが、これでは不足であり、なおその他のすぐれた写本のマイクロフィルムを入手したいと思っている。なお邦訳に当っては、ジュヴァイニーの『世界征服者の歴史』、ヴァッサーフの『歴史』の他に、ラシードの『集史』に依

拠している『バナカタイー史』、ムスタウフイーの『選史』なども参照しなければならぬ。

『集史』の文章は平明であり、難読な文体ではない。しかし固有名詞の読み方はなかなか決定し難いものがある。またモンゴル語乃至トルコ語に由来する術語が多用されており、その原義をよく理解していなければならぬ。フラグ・ウルス国制の史料集とも言うべきナフチェヴァーニーの『書記規範』も『集史』研究に不可欠の文献である。

編 集 後 記

本号は、新改築なった京都大学附属博物館での記念すべき第一回編集号です。私が約一年半前に編集委員になった頃、博物館（陳列館）は建造中。それで編集会議は、京大会館や楽友会館、発明センターの貸会議室を転転としていました。今号からはずっと博物館で編集会議が開かれることになりましたので、場所を間違えて遅刻する編集委員（長）もなくなるでしょう。

前号まで順調だった発行ペースが、本号から大幅ダウンになりそうです。会員の皆様には、何卒御容赦下さい。

（光春）

昭和六一年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の
受領について

昭和六一年度の史林の刊行費の一部として、文部省学術国際局から昭和六一年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受けております。

一九六六年二月二十五日印刷 定価一〇〇〇円
一九六七年一月一日発行 送料五〇円

史 林 第六九巻第四号（通巻第三八号）

発行人 京都市中京区吉田本町
京都大学文学部内

史 学 研 究 会

理事長 越 智 武 臣
振替京都七五一五五番

印刷所

京都市下京区七条御所ノ内町五〇
中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXX No. 1

Jan. 1987

CONTENTS

Articles :

- The Land System of *Han* 漢 Dynasty*Y. Satake* (1)
- The State Monopoly of the Corn Trade
in Rhaedestus*Y. Nezu* (44)
- Die propagandistische Partei • SPD und
das Witzblatt “ Der Wahre Jacob ”*T. Sato* (73)

Document :

- Shigekatsu Komai* 駒井重勝 and his Diary*T. Fujita* (118)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369